

報道関係各位

2026年1月15日

一般的な下水道のマンホールにも入るコンパクト設計 水中ポンプ「パッキングポンプ」レンタル開始

株式会社アクティオ

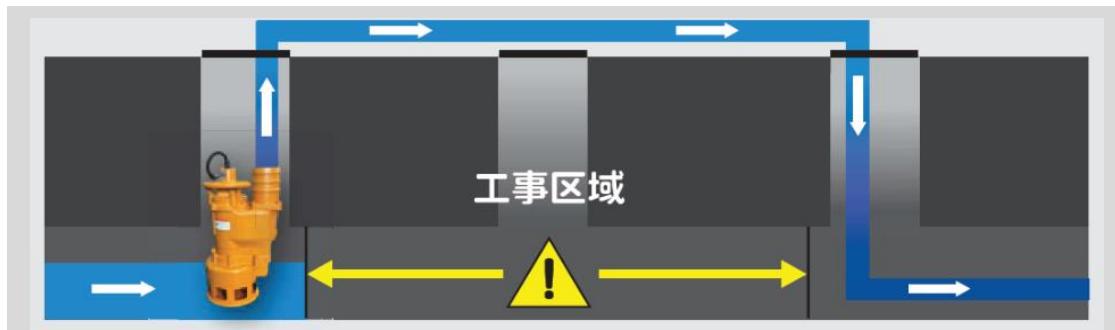
総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)は、過酷な排水環境でも安定して稼働する新型水中ポンプ「パッキングポンプ」のレンタルを2026年1月15日(木)から開始いたします。



【UF-486V】



【UF-4158V】



【下水道のマンホール切り回し工事】

現在、国内インフラの老朽化にともない、下水道の更新工事や改修工事は年々増加しています。こうした工事では、施工区間に下水が流れ込まないようにする必要があり、下水を迂回させる「切り回し」作業が必要になります。汚水用の水中ポンプは機械の構造上、一般的な下水道のマンホール(開口部内径600mmの1号マンホール)に入らないものが多く、これまででは通過粒径が小さい汎用的な水中ポンプで代用していましたが、異物の多い下水では異物混入による詰まりがトラブルの大きな原因となっていました。

今回、レンタルを開始する「パッキングポンプ」は、切り回し工事の仮設専用としてグループ会社の株式会社櫻川ポンプ製作所が開発しました。1号マンホールにも入るコンパクト設計で、水位が低くても排水の流れでモータを冷却する独自の「片水路構造」を採用することで連続運転を可能にしました。水を吸い込み、吐き出すために重要なインペラ部分は耐久性に優れたFCD500^{※1}素材を採用し、水位変動の大きい下水道工事はもちろん、土砂水の多い土木工事や建築現場でも安定した稼働を実現します。

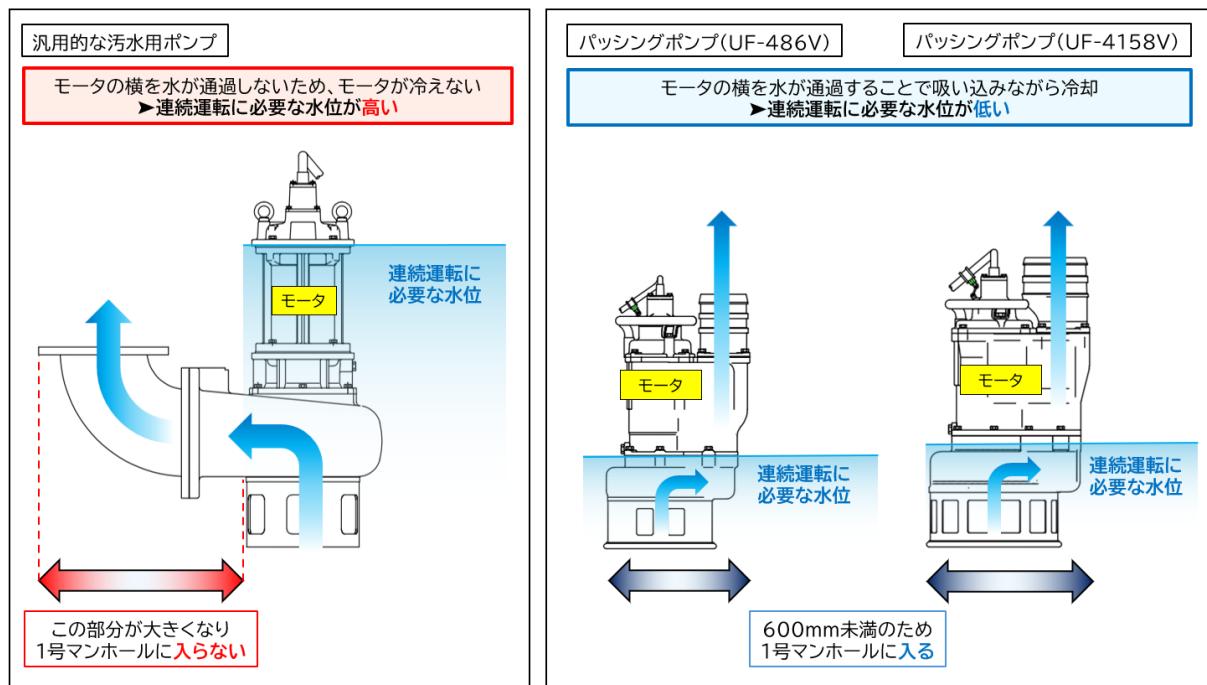
アクティオは今後も「レンタルティング」のノウハウを活かし、生産性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

※1 球状黒鉛鉄の一種

■「パッシングポンプ」特長

- ①最大径 600mm 未満で、1号マンホールにも設置可能
- ②水位が低くても排水の流れでモータを冷却する独自の「片水路構造」により連続運転が可能
- ③水を吸い込み、吐き出すために重要なインペラ部分は耐久性に優れた FCD500 素材を採用

■片水路構造の特長



■スペック

呼称	UF-486V	UF-4158V
口径 (吋)	6	8
(mm)	150	200
出力 (kW)	5.5	11
電圧 (V)	200	200
揚程 (m)	15	14
揚水量 (m³/min)	1	2
最大高 (mm)	783	888
最大径 (mm)	451	502
異物通過径 (mm)	30	45
運転可能水位 (mm)	280	340
ケーブル長さ (m)	10	10
質量 (kg)	120	215

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専業レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp